

青梅市高齢者見守り支援事業

青梅市高齢者見守りシールを交付します

問 高齢者支援課包括支援係



見守りシールとは

高齢者の衣服や所持品に貼ることができる2次元コード付きシールです。行方不明になった高齢者を保護した方がスマートフォンなどで2次元コードを読み取ること、家族へ連絡できる仕組みです。家族も保護した方も個人情報を開示することなく安心して使用できます。

交付対象者 おおむね65歳以上の在宅生活をする方で、認知症等により行方不明になるおそれのある市民を介護する家族等



利用の流れ

高齢者支援課へ申し込み・シール交付
↓
家族等の連絡先の登録
↓
シールの貼り付け (利用開始)

発見時の流れ

発見者が2次元コードを読み取る
↓
家族へ通知メールを自動送信
↓
ウェブサイト上の伝言板で連絡

現行の新型コロナウイルスワクチン接種は3月31日まで

新型コロナウイルスワクチン接種

問 市コールセンター ☎0120-840-085



年齢	内容
12歳以上	オミクロン株対応ワクチン（1人1回） ※1・2回目接種完了者が対象 2月の集団接種 【予約制・集団接種】 昼間…25日（土）、夜間…17日（金） 【予約不要（先着順）・集団接種】 17日（金） 午前10時～午後0時30分、26日（日） 午後2時～5時30分 ※予約不要の場合も、接種券等封入物一式、本人確認書類を必ずお持ちください。
5～11歳	小児用ファイザーワクチン 2回目は通常3週間以上あけて接種。その後5か月以上あけて追加接種。 ▷5～7歳…市内実施医療機関での接種 ▷8～11歳…集団接種会場での接種
生後6か月～4歳	乳幼児用ファイザーワクチン 2回目は3週間あけて接種。その後8週間あけて3回目を接種。 ▷市内実施医療機関での接種

今後の予定

接種を希望する方は、期間内の接種をご検討ください。4月1日以降の新型コロナウイルスワクチン接種については、現在検討が進められています。

出張もの忘れ無料相談会

問 高齢者支援課包括支援係

もの忘れが気になる方、家族や近所に気になる人がいるという方は、気軽にご相談ください。

認知症疾患医療センター青梅成木台病院職員による脳の元気度チェックも実施します。

日時 3月8日（水） 午前10時～午後1時

会場 中央図書館多目的室

対象 市民

※事前予約可



認知症サポーター
ステップアップ講座

認知症についてより深い知識や対応方法を学ぶ講座です。

日時 3月17日（金） 午前10時～正午

会場 市役所2階204～205会議室

対象 認知症サポーター養成講座を受けたことのある市内在住・在勤の方

内容 認知症について、当事者への接し方について

講師 認知症看護認定看護師 中原一之進氏

定員 先着50人（予約制）

申し込み 10日までに直接または電話で高齢者支援課包括支援係へ

人生100年時代
お化粧のチカラでフレイル予防

肌のお手入れやお化粧をすることで、気持ちが明るくなったり、出かけやすくなったりします。お化粧のチカラでフレイルを予防しましょう。



日時 3月22日（水） 午前10時～11時30分

会場 市役所2階201～203会議室

対象 65歳以上の市民

内容 お化粧やスキンケアによるフレイル予防の講義、簡単にできるスキンケアやお化粧の実践

講師 資生堂ジャパン(株)ソーシャルエリアパートナー

定員 先着20人程度

持ち物 筆記用具

申し込み 3月17日までに直接または電話で高齢者支援課包括支援係へ

迅速な救命処置が命を救います

普通救命講習会

日時 3月22日（水） 午後1時30分～4時30分

会場 健康センター3階

対象 市内在住者

内容 心臓マッサージ等の救命処置とAEDの安全な操作方法

定員 先着15人（予約制）

費用 1,500円（テキスト代）

※当日集金

※救命技能認定証持参で200円割引

服装・持ち物 動きやすい服装（スカート不可）、筆記用具

申し込み 電話 ☎23-2191

91で健康センターへ



生活、仕事、お金のこと、
ひとりで悩まず、相談してみませんか？

●生活のこと

どこに相談したらよいか分からない。頼れる人もいない▷ひきこもりやニートで悩んでいる。

●仕事のこと

仕事はしたいけど、何から始めればよいか分からない▷失業してしまった。再就職先が見つからない…。家賃が払えない…。

●お金のこと

家計のやりくりが…▷公共料金の滞納や借金の返済が大変だ。

悩みが深刻化する前に…。まずは、お電話を！

問 直通電話 ☎23-5888 で生活自立支援窓口（市役所1階17番窓口生活福祉課内）

※つながらない場合は、市役所代表電話へおかけください。

※市役所での相談を希望する場合は、事前に電話で予約してください。

食育一口メモ

冬に多い
ノロウイルスによる食中毒



問 健康センター ☎23-2191

ノロウイルスは、手指や食品などを介して、口から感染し、ヒトの腸管内で増え、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。子どもや高齢者など抵抗力の弱い方は、重症化しやすいため特に注意が必要です。

感染予防のため、十分な手洗い、二枚貝などは中心部までの十分な加熱処理、調理器具の洗浄・消毒をしましょう。また、おう吐物や便などは、消毒用エタノールではなく、次亜塩素酸ナトリウムを使用しましょう。消毒液の簡単な作り方は、ホームページ（2次元コード）で確認してください。

参考：東京都福祉保健局「家庭のできるノロウイルス対策」